



主題名 》 いじめの解決方法について考えよう

教材名 》 ラストシーンはこうでなくっちゃ
(シーン3を創作しよう)

人権学習の視点 》 個別的な視点「子どもの人権」

主題・教材について 》 教室内のいじめを描いたストーリーであり、いじめの構造におけるいろいろな立場の生徒(いじめられる者、いじめる者、はやし立てる者、傍観する者)が登場する。いじめ解決の手立てをストーリーで創作させることにより、いろいろな立場からいじめ解決に向けて考えさせたい。

ねらい 》 いじめられている側の立場に立って考え、一人一人がいじめについて深く考えることで、いじめを許さない環境を作ろうとする態度を身に付ける。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○資料「ラストシーンはこうでなくっちゃ」を読ませる。	個別	○資料「ラストシーンはこうでなくっちゃ」を、場面を想像しながら読む。	○1回目は教師が読み聞かせ、2回目は生徒が読む。	資料集P.50
	登場人物の立場や気持ちを考えよう。				
展	○登場人物の立場といじめに対する気持ちを話し合わせる。	一斉	○登場人物の立場といじめに対する気持ちを考え、発表する。	○いじめの問題には、いろいろな立場の生徒が関わっていることを考えさせたい。 ○特に、Dさん、Eさん、Fさん、Gさんの気持ちを考えさせたい。	ワークシート 項目①
	あなたは小説家最後の展開(シーン3)を創作しよう。				
開	○「シーン3」(いじめ解決までの展開)を書かせる。	個別	○いじめが解決したというラストシーンの設定で、解決までの展開を創作する。	○登場人物の誰かに焦点を当てた展開を創作しても構わない。	ワークシート 項目②
	○グループで完成した作品を交流させる。	グループ	○グループで完成した作品を交流する。		
いじめを解決するために大切なことを考えよう。					
まとめ	○いじめをなくすためにできることを考えさせる。	個別	○いじめをなくすためにどんなことができるかを考える。	○いじめられている生徒だけでなく多くの傍観者の立場の生徒の取るべき行動についてもふれておく。	ワークシート 項目③

評価

いじめられている側の立場になって考え、一人一人がいじめについて深く考えることで、いじめを許さない環境を作ろうとする態度を身に付けることができたか。